

# 常任委員会での審査内容

※第4回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています

## ▼総務委員会

議案第10号 和解に関することについて、委員より質疑があった後、採決の結果、賛成多数で了承しました。

**委員** 私は、出来高精算金は設計業者が全額支払うべきと考えますが、今回の和解では出来高精算金と修正設計費が一緒になり、責任の所在が曖昧になっているように思います。工事中断という事態にいたった問題の本質をきちんと整理してはどうかと考えますが、見解を求めます。

**牛久沼プロジェクト課長** 沼の内側が軟弱地盤であることは想定していましたが、設計コンサルタントと設計協議を進めてきた中で、大手ゼネコン等からの様々な見解や、安定検査の結果等から、当初は対応可能と認識していました。

しかし、今回の試験施工による工事の一時中止に伴い、地質調査の結果から沼内が想定以上の軟弱地盤であったことは、我々も重く受けとめ、市として十分反省すべきところであると思っております。

**委員** 今までの工事費については精算をしなければいけないので、この和解については認めざるを得ないと思いますが、今後、追加で精算する金額はないのか。また、これまでに支払った合計金額はどの程度になるのか。

**牛久沼プロジェクト課長** この和解以降に設計コンサルタントや工事の受注事業者へ、新たに支払う費用はありません。また、今までに要した経費は、今回の精算金を合わせて約2億円強となっております。

## ▼文教福祉委員会

令和2年陳情第1号 安心安全な教育環境のための少人数学級を求める陳情書について、委員より意見があった後、採決の結果、賛成少数で不採択とすることに決しました。

**委員** 茨城県議会においても、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」が可決されており、意見書の中では、「計画的な教職員定数改善により、少人数学級を推進すること」等が求められています。また、「新しい生活様式」では、人との間隔は最低1メートル以上空けることとされており、子ども達が学校で一番長くいる教室で、それを保障することは非常に大事なことだと思います。是非、採択していただきたいと思えます。

**委員** 当市の教育現場においても、いろいろな形で少人数指導を実施しています。これは、当然、制度として必要だと思えますが、ソーシャルディスタンスとは全く関係のない話だと思えます。国が30人学級を目指すということであれば、その時期を待ちたいと思えますので、20人学級という意見書の提出については、私は不採択とさせていただきます。

**委員** 市内の小中学校においては、1クラス生徒数の平均が30人を超えている学校は、少ないのが現状です。やっと国が30人学級を目指していくことになり、それを待ってもいいのではないかと思いますので、この陳情には不採択とさせていただきます。

## ▼環境生活委員会

報告第11号 令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第11号）の所管事項について、委員より質疑があった後、採決の結果、全員異議なく了承しました。

**委員** 農業公園湯つたり館管理運営費について、農業公園施設長寿命化計画の内容を伺います。

**産業経済部長** 公共施設の大半や道路等のインフラの老朽化が進行していることから、公共施設及びインフラが担う必要性の高い機能を確保するとともに、持続可能な財政運営との両立を目的として、平成28年3月に「龍ヶ崎市公共施設等総合管理計画」を策定したところです。

このため、湯つたり館については、「龍ヶ崎市公共施設等総合管理計画」に基づき、長寿命化に資する予防保全的な管理や改善を計画的に推進し、ライフサイクルコストの縮減等を目指すことを目的として、長寿命化計画（令和3年度から令和33年度の予定）を策定する考えです。

**委員** この計画の策定を業務委託から直営に変えたことは、財政確保の観点からも高く評価します。



▲様々な体験ができる  
農業公園湯つたり館